

競争入札経過調書（最低価格落札方式）

件 名 東京国際空港制限区域内車両制御用設備（製造・設置・調整）

開 札 年 月 日 令和6年6月20日 （落札決定日 令和6年7月11日 ）

入札執行官署 東京航空局

落 札 金 額 ￥ 110,000,000 -

落 札 者 日本電気株式会社

予 定 価 格 ￥ 390,313,440 -

積 算 額 ￥ 390,313,440 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥ 354,830,400 -

調査基準価格 ￥ 234,188,064 - 調査基準価格の 100/110 ￥ 212,898,240 -

低入札価格調査実施済 第1回 落札

入札参加者	第1回入札	第2回入札	摘 要
	入札金額	入札金額	
日本電気株式会社	100,000,000		第1回 落札
日本信号株式会社	197,500,000		
三菱電機株式会社	710,000,000		
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	不着		

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。

※ 予定価格（入札書比較価格）の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。

低入札価格調査の実施概要

工 事 名：東京国際空港制限区域内車両制御用設備（製造・設置・調整）

調査を実施した業者名・住所：日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号

項 目	内 容
① その価格により入札した理由	本案件で製造する設備は、過去に開発したソフトウェア及び同種のシステムなどの自社製品や既製品を組み合わせることで製作可能な仕様と捉えており、設計・開発に係るコストの大幅な削減が可能であったとのこと。また、設置工事費用においても東京国際空港において豊富な施工実績を有する技術者が管理をすることで、作業工数を最適化し、工事期間の短縮及び直接人件費の低減を図っているとのこと。 入札者は、空港や航空交通の運用に関するシステム等の事業を継続的に取り扱っており、空港の運用に直結する本案件とのシナジー効果が期待できること、また、自動運転車両の制御設備としてパイロット事業である本案件を受注することにより、国内外への技術展開を視野に入れていることから、本案件に対する受注意欲が非常に高く当該価格で入札を行ったとのことである。
② 当該契約の履行体制	様式3「当該契約の履行体制」により適切に確保されていることを確認した。
③ 当該契約期間中における他の契約請負状況	サイバーセキュリティ管理処理システム（CRMS 性能向上、ハードウェア更新機器一式の製造及び調整／国土交通省 航空局 東京国際空港陸上警備設備センター設置（製造・調整）／東京航空局 他8件
④ 手持機械の状況	製造機器の搬入、据付にかかる機材について、機械をリースすることとしている。倉庫、作業員詰所等は設置しないことを確認した。
⑤ 過去に施工した公共工事及び発注者	「東京国際空港警備設備用監視カメラ3式の購入」東京航空局 「令和5年度東京国際空港警備システム陸上部 保守点検」東京空港事務所 他7件
⑥ 経営内容	経営内容に特段の問題がないことを確認した。
⑦ 1から6までの事情聴取した結果についての調査検討	入札価格設定にあたって、過去に開発したソフトウェア及び同種のシステムなどの自社製品や既成品の組み合わせによって製作することにより、設計・開発に係るコストの大幅な削減を図っている。また、設置工事費用についても東京国際空港において履行中の他案件と作業員を共有し、効率的な配置を計画するなど、直接人件費の低減を図っている。案件としても他事業とのシナジー効果や今後の展望を踏まえ、将来を見据えた受注注力案件として位置づけ、他社との競争を考慮し、最低限の利益を確保した金額で入札している。 入札者においては、空港における同社の関連事業全体の拡大を目標に掲げており、今回新規のアプローチとなる本案件を受注することによって、将来的には自動運転車両の制御設備にかかる国内外への技術展開を視野に入れていることから、利益を最小限としてでも本案件を受注したいという意欲が非常に高い。過去の実績からも製造及び施工面についての問題はないと考えられるため契約の内容に適合した履行がされない恐れがあるとは認められなかった。
⑧ 経営状況	経営状況－特段問題なし
⑨ その他必要な事項	特になし